アロマセラピーへの取り組み
～あなたの最期によりそって～

社会福祉法人鹿追恵愛会　特別護老人ホーム　しゃくなげ荘

介護士　北　麻悠美　　事務員　丹野　良子

特別養護老人ホームしゃくなげ荘

法人名：社会福祉法人鹿追恵愛会

所在地：鹿追町

開設：昭和５５年４月１日

定員：入所５０名　短期入所１０名

平均要介護度3.89（Ｈ２４年度）

アロマセラピーの導入経緯

10年程前、現施設長からの問いかけで今後の
しゃくなげ荘の課題として皆で考えていたのが・・・。

① 重度の利用者に対し何がしてあげられるのか？
② 利用者一人ひとりに向き合い、気持ちを知るために
出来る事はないだろうか？
③ 言葉以外のコミュニケーション方法で何かない
だろうか？
④ ターミナル期の方に対し、職員誰もが関われる
方法はないだろうか？

そこで考えたのが・・・

アロマセラピー
だったのです！！

アロマセラピー導入のねらい

① 個を大切にできるケア
② 薬物に頼らないケアの実践
③ スキンケアの充実
④ スピリチュアルなコミュニケーション
⑤ 癒しとリラクゼーション効果
⑥ 緩和ケアとしての関わり

何をどうしよう・・・

どうやってアロマセラピーをするの？？

⇒セラピストによる導入、出来る事からの取り組み（芳香、トリートメント）

時間はどうしよう

⇒業務改善（３大介護の見直し）

◇排泄・・・使用オムツ、交換回数の見直し

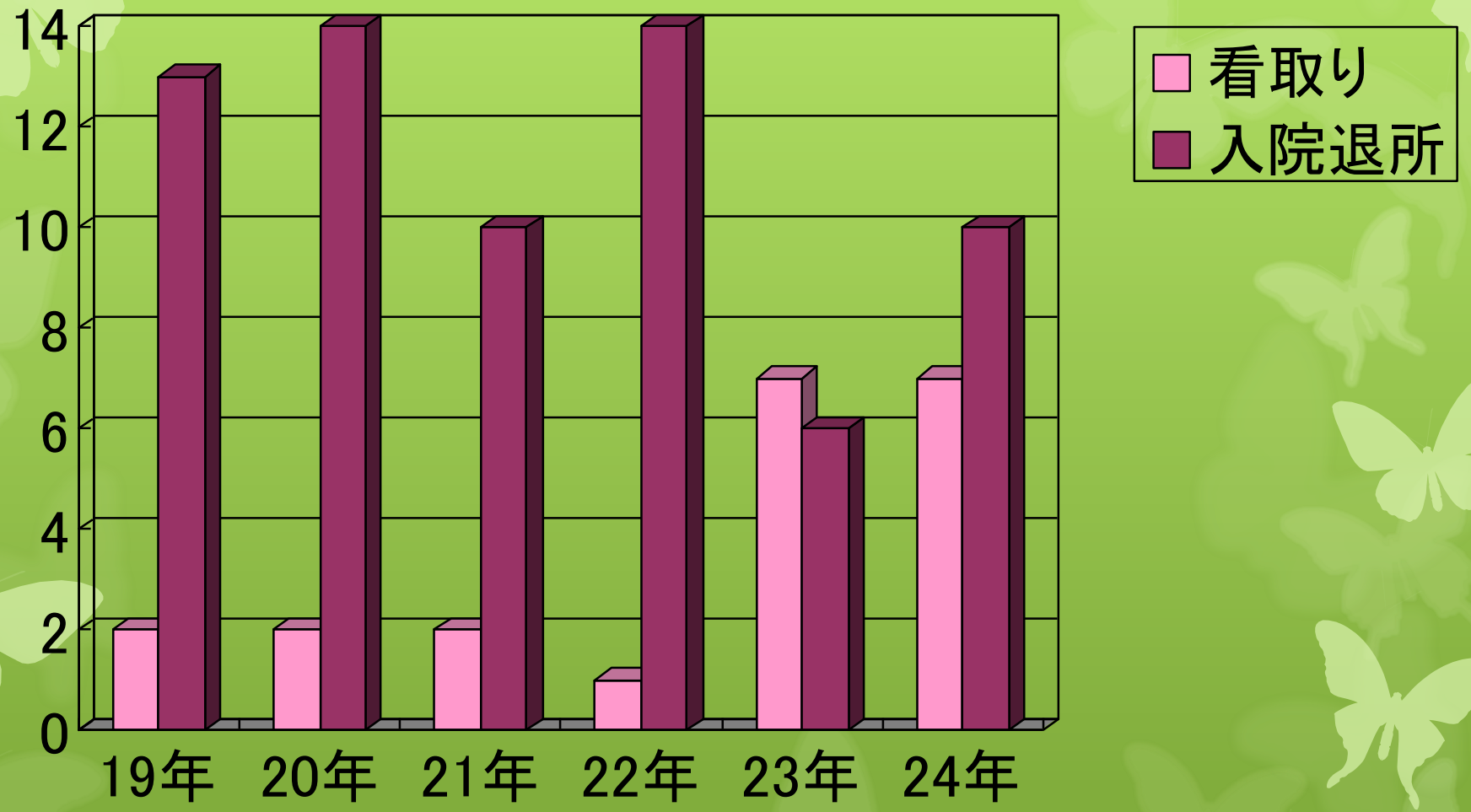
◇入浴・・・入浴人数の分散による一度に関わる
職員の人数を減らす

◇食事・・・時間に幅を持たせ一斉食事の解消

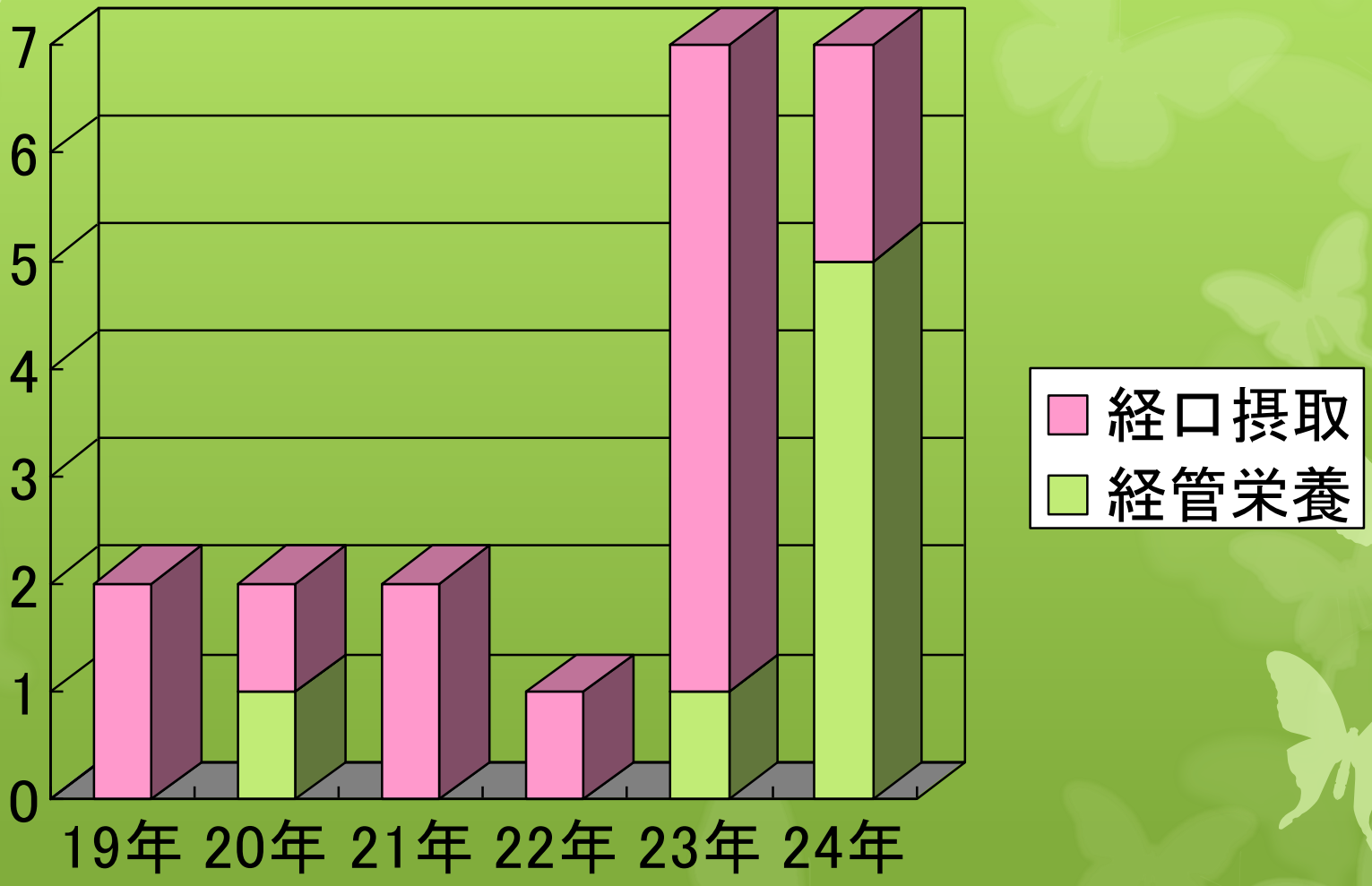
誰がやるの？？⇒　制度開始をきっかけに利用
（機能訓練の活用）

何か変化があるのかな？？何に活用するかの検討
⇒　委員会での勉強会、アンケート

しゃくなげ荘の現状　看取り



しゃくなげ荘の看取りの詳細



その時の職員は・・・

（職員アンケートより平成20年度）

◇何が出来るのか、何度も訪室していた。

◇どの状態で看護士へ連絡するのか。

◇どうすればよいのか不安。

◇もっと何かしてあげられたのではないか・・・

◇アロマをしてあげたらチアノーゼが少し良く
　なった。

そして・・・

（職員アンケートより平成22年度）

◇家族より「マッサージしてくれたんだね」と
　声をかけられた。
◇自分達で出来る事（アロマ、湯たんぽ）を考え、
　相談しながらどうすべきかを学んでいる。
◇看取りの方であるが、他の方と変わりなく
　介護を行っていられた。
◇亡くなる当日にアロマトリートメントが出来て
　何かしてあげられた、と感じた。

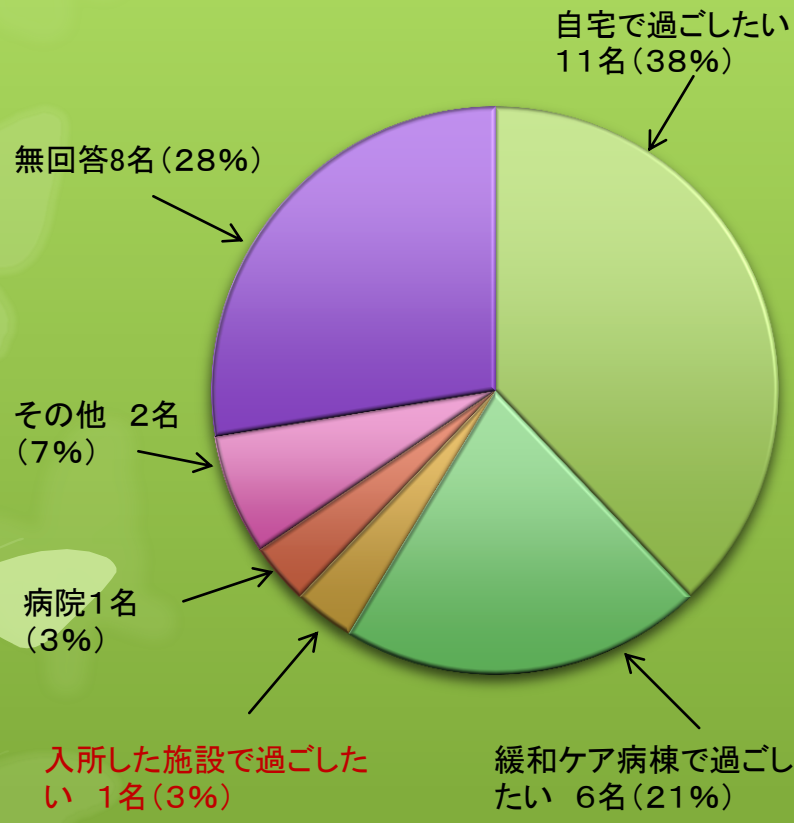
しゃくなげ荘では

看取りの方へのアロマトリートメントが自然と行われていきました

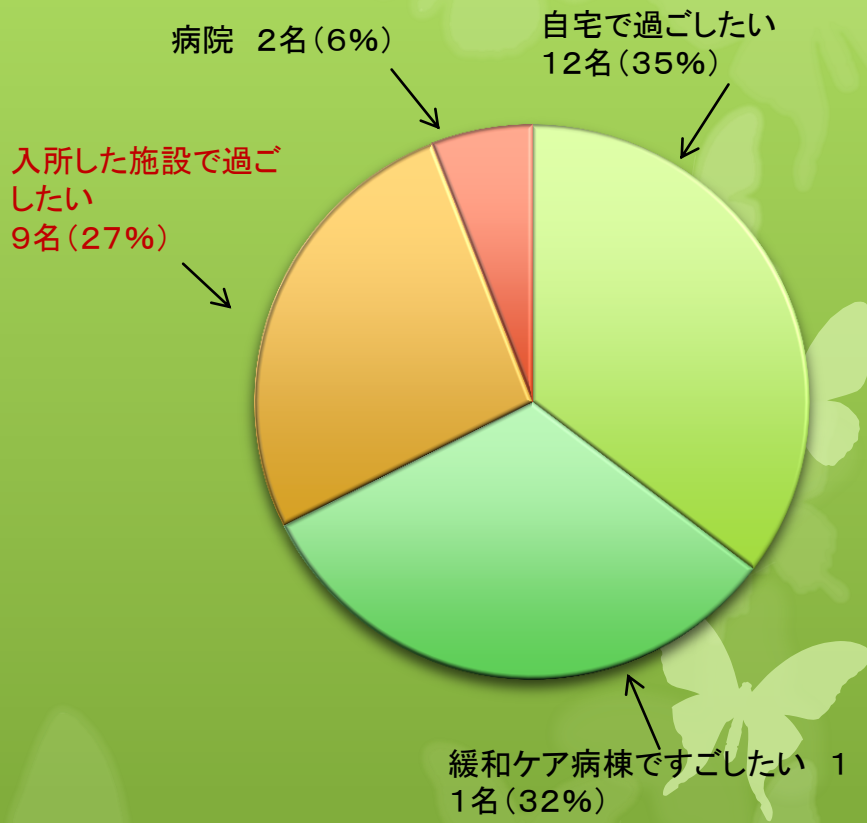
今まで行ってきたアロマと看取りがつながった！！

私たちでも出来る事がある！！

職員の意識調査から
「終末期を過ごす場所は？」



平成20年



平成21年

現在のしゃくなげ荘での取り組み

ソーシャルアロマ

セラピスト資格取得

（NPO法人海　空　太陽　登録商標）

介護士

看護士

事務員　　**計14名**

相談員

栄養士

資格を取得するまでに・・・

・テキストを使用して
　の講義と手技の勉強

・50人の手と足
　トリートメント実習

☆利用者だけではなく、
　職員間のコミュニ
　ケーションができた。

☆職員の気持ちいいも
　増えました！！

施設内勉強会の継続

養成校との連携

動画をご覧ください

私たちは今何を求められて
いるのか・・・

・どのように残りの時間を過ごしてもらうか
　を悩む家族がいます。
・積極的な医療を望まないご家族がいます。
・しゃくなげ荘で出来るだけ最期まで
　看てほしいと言って下さる家族がいます。
・経管栄養の方もいらっしゃいます。
・自分がどのように過ごしていくかを考えて
　いる利用者様もいます。

私たちは・・・

◇　地域の方々へ私たちの行っている事をオープンにし、知ってもらうこと。

◇　利用者のありのままを受け入れ、一緒に悩み考え、その人にとって何が良いのかを考えること。

◇　最後まで過ごせる、看取りが特別な事ではない特別養護老人ホームであること。

誰もがいかなる状況下においても
「生き切る意味」を見失うことなく
自分の人生を生き切る事ができる
様な生活支援のあり方を、全職員で
これからも考えて行きたいと思って
います。

ご清聴　有難うございました！！